



平成28年1月4日年頭挨拶風景

トピックス

- 糖尿病・内分泌内科の近況
- 地域包括ケア病棟での取り組み
- 信楽園病院の外来を紹介します
- 季節のメニュー紹介
- サクソフォン&ピアノ「ひな祭りコンサート」のご案内
- 展示ギャラリーの紹介

平成27年度
病診連携事業信楽園病院登録医連絡会議のご案内

日時：平成28年3月10日（木）
午後7時～8時30分

場所：信楽園病院 大会議室（7階）

講演：五十嵐医院 五十嵐 昭夫先生

信楽園病院 糖尿病外来 山田 幸男医師

※詳細は後日ご案内申し上げます

基本理念

- ・病める人の権利と心情を重んじ、信頼される医療を行います。
- ・質の高い医療を目指し、器機および療養環境の整備と
研修・研究・教育に努めます。
- ・急性期から在宅まで一貫した医療を推進するため、
地域および当院関連の医療・福祉施設と連携を深めます。
- ・地域住民の健康増進と福祉向上に貢献します。

信楽園病院広報誌 地域医療連携室だより137号

発行日 平成28年2月1日

編集 社会福祉法人 新潟市社会事業協会

信楽園病院 地域医療連携室

〒950-2087 新潟市西区新通南3-3-11

TEL025-260-8101 FAX025-260-8102

[Http://www.shinrakuen.com](http://www.shinrakuen.com)

糖尿病・内分泌内科の近況

糖尿病・内分泌内科 高澤 哲也

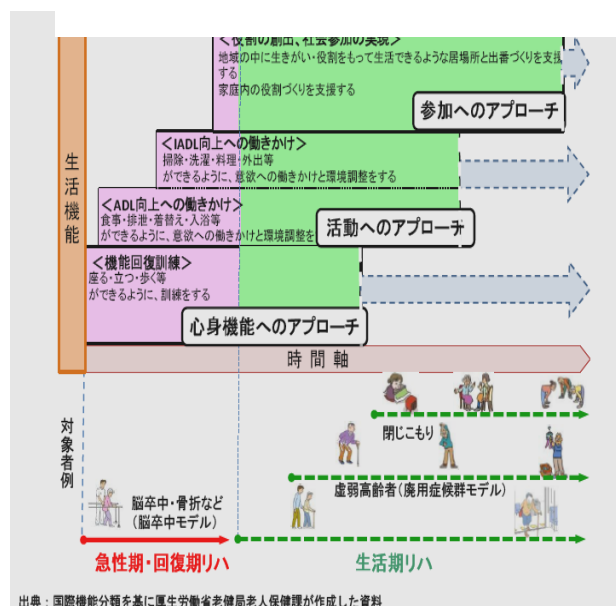
現在、当院の糖尿病外来は「山田 幸男」「高澤 哲也」「上村 宗」の3名で担当しております。山田先生は昭和50年代前半より当院で糖尿病診療を開始され、各種糖尿病教室や糖尿病教育入院システムを立ち上げ、患者教育・療養指導の基礎を作られてきました。私、高澤は平成1年に赴任し、山田先生の下で糖尿病診療のお手伝いを開始し今日に至っております。さらに、平成19年より上村先生に加わってもらい現在の体制が出来上がりました。

山田先生のお仕事は院内の診療のみに留まらず、私が赴任する以前からフィールドワークとして自治体（当時の西川町、黒崎町、分水町）と共同で糖尿病健診事業を行い、また私の赴任後には視覚障害者のリハビリテーション事業を開始し現在も継続しています。この長年の視覚障害者を支援する活動が認められ、平成27年3月20日、医療功労賞の全国表彰を受けられました。この賞は長年地域の医療や福祉に貢献した人に贈られる読売新聞社主催の褒章で、第43回となります。さらに同活動に対し平成27年10月20日、糖尿病療養指導鈴木万平賞を受賞されました。この賞は、故 鈴木万平氏（元三共株式会社取締役社長、元参議院議員）の意思に基づき設立された鈴木万平糖尿病財団が行う褒章事業の一つで、今回8回目となります。このように、対外的に評価されるようになった山田先生の活動は、実は病院内では一部の古参職員以外はあまり知られていません。原因として、山田先生自身院内向けの広報活動を行わなかったことと、私がほとんど活動には参加せず宣伝できる情報がなかったためと反省しております。

来る3月10日（木）に行われる病診連携事業信楽園病院登録医連絡会議において、今回の受賞に至った事業を含め、山田先生に今までの活動について講演していただくことにしました。決して私の罪滅ぼしのつもりではありません。興味深い話が聞かれるものと思いますので、登録医の先生方には奮ってご参加いただければと思います。

地域包括ケア病棟での取り組み

リハビリテーション科 専従理学療法士 市村 泉



当院では平成26年10月より7階東病棟（44床、4床室8室、個室12室）を地域包括ケア病棟として運用しております。当病棟では、在宅復帰に向けて、「心身機能」「活動」「参加」のそれぞれの要素を時期に応じて、バランスよく実施し、心身機能回復、在宅生活がスムーズに送れるように家族指導などに努めています。また、定期的なカンファレンスを行い、医師、看護師、ケースワーカー等、多職種と連携し、スムーズな退院に繋がられるよう、情報共有を行っています。

リハビリは個々のニーズに応じ、個別リハビリ、集団リハビリと幅広く対応可能です。個別リハビリでは座る、立つ、歩くなどの練習や日常生活動作の向上への働きかけを行なっています。集団リハビリでは、ラジオ体操や口腔機能・認知機能を高めることを目的としたレクリエーションを行っています。集団リハビリに参加していることで、患者様同士の交流する機会が増え、自発性、活動性が向上するなどの効果が出ています。



信楽園病院の外来を紹介します

外来看護師長 鶴谷 綾子

特定健診について

当院の特定健診は、予約制ではありません。
来院された日に健診を受けることができます。
特定健診だけの場合、来院された当日は検査と診察を受け、2週間後に結果聞きとなります。
結果聞きの際、必要に応じて、ご本人に合った食事のパンフレットをお渡し、アドバイスを行っています。



私たちが担当しています
よろしくお願いいたします



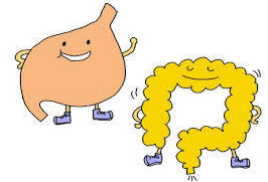
がん検診について

胃がん検診

当院では、胃内視鏡検査・胃透視検査を実施しています。

胃がん検診は、完全予約制となります。予約時に、内服薬の確認をしますので、「お薬手帳」を必ず、持参していただくようお願いしています。

※抗凝固薬を内服されている方は、胃内視鏡検査を選択することはできません。



大腸がん検診

大腸がん検診で要精密検査となった場合、ご本人へ連絡しています。

そのため、早めの受診が可能です。また、結果聞き後、引き続き大腸内視鏡検査の予約も行うことができます。

年1回は
健診を受けましょう

異常の早期対処が可能！

高血圧、脂質異常、CKD、
心疾患、糖尿病などの治療を
必要とする場合、
専門診療科へ紹介を行うため、
早期に検査、治療を受けること
ができます(‘ω’)



禁煙外来・肺炎球菌ワクチン接種なども
行っております。是非、ご相談ください。

季

節

の

メ

ニ

ュ

ー

紹

介

～たらとホタテのフライ 野菜のレモンソースかけ～

管理栄養士 森井 里佳

<1人前◆ エネルギー：291kcal たんぱく質：15.9g 塩分：1.0g>

今の時期が旬のたらと帆立を使ったメニューを紹介します。

淡白なたらと帆立をフライにすることでボリューム感がアップし、彩りきれいな酸味のきいたソースでさっぱりと食べることができます。季節にあわせて旬の食材や付け合わせの野菜などを変えてお楽しみください。

◆材料（1人前）◆

たら40g ほたて貝（30gぐらいのもの）1個

白こしょう少々 小麦粉10g たまご6g

パン粉11g 揚げ油11g

<野菜のレモンソース>

赤ピーマン3g 黄ピーマン3g 玉ねぎ 7g

酢2cc レモン汁3cc サラダ油3g

塩0.3g 白こしょう少々 さとう0.5g パセリ少々

<付け合わせ ブロッコリー 焼きミニトマト>

ブロッコリー30g ミニトマト3個



◆作り方◆

- ① たら・ホタテ貝に白こしょうで下味をつけ小麦粉・卵・パン粉をつけ、油できつね色になるまで揚げる。
- ② 野菜のレモンソースを作る。赤ピーマン・黄ピーマン・玉ねぎはサイコロ状にあらみじんにして切る。レモンソースの調味料をよくまぜ野菜とあわせる。調味料と野菜を早く混ぜると酸によって色が変わってしまうので食べる直前に合わせると色がよくなります。
- ③ ブロッコリーはゆで、ミニトマトは少し切り目をいれてオーブンや魚焼きグリルなどで焼きます。
- ④ 付け合わせのブロッコリー、焼きミニトマトを皿に盛りフライをのせ、食べる直前にレモンソースをかけるとフライのサクサク感が楽しめます。

◆食材ひとくちメモ◆

たらは12～2月が旬といわれ、ホタテ同様、脂肪が少なく、良質なたんぱく質やカルシウムを多く含みます。身はやわらかく、加熱すると身くずれをおこしやすいので注意が必要です。

ホタテはタウリンの他、鉄や亜鉛などのミネラルを豊富に含み、コレステロールを下げ、動脈硬化や高血圧症を予防する効果や滋養強壮にも効果があると言われています。ホタテ貝の独特の旨味は甘みの強いグルタミン酸でその他アスパラギン酸やグリシンなどのアミノ酸を多く含んでいます。

サクソフォン&ピアノ「ひな祭りコンサート」を開催します



日時：平成28年3月3日（木）
14：30～15：30

場所：信楽園病院1階 外来ロビー

曲目：オペラメドレー

雪の華

ニュー・シネマ・パラダイスのテーマ
など

展示ギャラリーのご紹介

1月に1階外来ロビーに展示いたしました写真展「ちいさい秋みつけた」の作品をご紹介します。

